

ウェルネスバレーワンストップ窓口事業から 「高齢者施設におけるトイレ利用実証事業」が誕生

大府市は、ウェルネスバレー関係機関と市内外のものづくり企業をワンストップで支援するワンストップ窓口事業から誕生した、「高齢者施設におけるトイレ利用実証事業」を開始します。医福工連携マッチングでの令和4年度最初の実証事業となります。

■「高齢者施設におけるトイレ利用実証事業」の概要

実証期間／7月1日（金）～8月31日（水）

経緯／株式会社 LIXIL から「高齢者が安心して住み続けられる住まいづくり」を目指す一環として、実証先紹介の相談がありました。本市がウェルネスバレー関係機関に照会したところ、フラワーサーチ大府から実証希望があり、本事業を開始することとなりました。

事業の目的／サービスを利用する高齢者の QOL 向上、介護者・施設の負担軽減と介護サービスの付加価値向上につながる製品・サービスの創出に向けた実証。なお、排泄介助は食事介助、入浴介助と並ぶ三大介助の1つとされています。

開発企業／株式会社 LIXIL（東京都江東区大島 2-1-1）

事業内容：住まいの水まわり製品と建材製品の開発・製造等

ウェブサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

実証先施設／介護付有料老人ホームフラワーサーチ大府（大府市半月町3丁目230）

市の関与／①実証に先立つ企業、施設間における複数回にわたるミーティングのアレンジ及び参加（対面、オンライン）

②機密保持契約締結をはじめとする各種調整支援

③実証事業の普及啓発